

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔印章〕 （営業担当）	・新しい会社設立が行なわれるなど、今までは安価な印鑑を求めていた客が多かったが、最近はカラフルな印鑑を購入する客も多くなり、客にも少し余裕がでてきたようだ。
		百貨店（営業担当）	・昨年のクールビズ以降、紳士服をはじめ、衣料品が順調に売れており、今後も消費は回復する。
		スーパー（店長）	・全般的に少しずつではあるが、良くなってきている。この傾向は今後も続いていく。
		スーパー（店長）	・少しグレードの高い商品が動き始め、これから先2～3か月は客単価がアップする。
		スーパー（店長）	・1人当たりの買上点数も増えており、客単価自体も上昇している。また、福山駅周辺の開発工事も順調に進んでおり、このまま来客数が増加する。
		コンビニ（エリア担当）	・相変わらず、来客数・客単価は変化していないが、以前に比べて販売数が少し増加しており、この傾向が続く。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・全体的に高額商品が良く売れ、動きが良くなっている。
		百貨店（営業担当）	・高単価なものが売れ出している。
		家電量販店（店長）	・景気はほとんど変わらないなかでも、12月のデジタル放送の開始に向けて、AVに期待している。また、客の省エネへの高い関心が好材料である。
		家電量販店（店長）	・テレビは、今後も引き続き好調を維持する。
		家電量販店（店長）	・いよいよデジタル放送開始に向けて、薄型テレビへの買い替え等が見込まれる。
		家電量販店（店員）	・サッカーワールドカップ、地上デジタル放送も本格化するのでその需要がある。
		乗用車販売店（経営者）	・来場客との商談でも、内容的に良い感触が得られている。春とともに、明るい話題が多くなっている。
		乗用車販売店（店長）	・3月の販売の推移は、月末に失速するのが常であるが、今月は安定していたのでこの傾向が続く。
		その他専門店〔スポーツ〕（店長）	・6月からワールドカップもあり、サッカー関連の商品の動きが良くなりそうなので、今よりは若干景気が良くなる。
		その他専門店〔書籍〕（従業員）	・これから世界的なベストセラーの続編があるので売上げが期待できる。
		その他小売（営業担当）	・出控えがなくなり、消費意欲が向上するので、今の良い状況で推移する。
		一般レストラン（店長）	・客数こそ安定的に推移しているが、客単価がアップしておりその状況で増益になる。
		観光型ホテル（スタッフ）	・宿泊単価も上がるし、ゴールデンウィークの予約も前年よりも良い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ゴールデンウィークの予約がまずまずで、それ以外でも土曜日の宿泊が多くなっている。
		都市型ホテル（総務担当）	・4月以降の一般宴会の受注件数及び宿泊における予約件数は、既に前年を上回っている。総じてみると、緩やかながらも景気回復基調にある。
		旅行代理店（経営者）	・今まで旅行に行っていなかったところからの発注がある。年度末に利益がでたので、旅行を計画するという声が聞こえてくる。
		タクシー運転手	・3、4月は例年通り、歓送迎会・入学式等、忙しい時期であるが、前年比100%以上を大きく上回り希望が持てる。また3か月先も、乗客の会話で仕事が忙しいという話がよく聞かれ、笑顔も多く、確実に上向いていく。
タクシー運転手	・観光の予約等で若干の動きがある。ただし、これが継続性があるかどうか不明である。しかしながら、乗客の単価、乗車距離にも伸びがみられ、昨年およびこの2～3か月と比べて、はっきりとした動きがでてきている。		
通信会社（販売企画担当）	・新商品の投入で市場が活性化され、販売量が伸びる。		
テーマパーク（業務担当）	・大規模イベントを控え、暖かくなるにつれて問い合わせ等も増加してきている。		
美容室（経営者）	・売上は良い方に向いており、単価を上げる企画次第で更に良くなる。		
設計事務所（経営者）	・建築関係の社会的問題もやっと落ち着き始めて、民間の動きが予想されるので、仕事量も今後少し期待できる。		

	住宅販売会社（販売担当）	・金利の先高感で、販売は上昇傾向にある。
変わらない	商店街（代表者）	・商店街の店舗が一店、今月末で閉鎖の予定である。その後の入店は未定であり、商店街がますますシャッター通り化する傾向が続く。
	商店街（代表者）	・また大型量販店が1社出店するうわさがあり、これでは、商店街が伸びる余地がない。
	一般小売店〔家具〕（経営者）	・市町村合併も合併までは期待感もあったが、合併後は地方自治体による経費節約にとどまらず、学校の統合等、全般的な公的部門の縮小が続く、地域の状況はいよいよ良くなり、売上にも悪影響がある。
	百貨店（販売促進担当）	・ヤングゾーンの動きは、パンツ丈の変化、白の人気等、春ファッションのトレンドが明確なため、動きは堅調である。しかし、分母の大きなミセスゾーンの回復がみられない限り、全体的な消費の上昇にはつながらない。靴、バッグ、セーター等のアイテムで低価格商品の品そろえ拡大を図っていくしかない。
	百貨店（電算担当）	・婦人、紳士衣料品とも改装効果があり、順調な売上を維持しているが、その他商品は前年確保するのに精一杯である。催事をいろいろやっているが、来店数が毎月減少しておりこの傾向が続く。
	百貨店（売場担当）	・地方の駅前立地としての地盤沈下は、相変わらず進んでおり、集客も依然として大変厳しいものがある。外販等による増収と相殺される形で、全体的には今と変わらない状況がもうしばらく続く。
	百貨店（購買担当）	・ヤングゾーンについては、トレンド商品が当たっているということもあり、気温がこのまま上昇すれば昨年同様、かなりの売上が期待できる。ただしミセスについては、トレンド色もなく、これから春のクリアランスセールをねらった客が増え、プロパー商品・高額商品の売上は期待薄である。
	百貨店（販売担当）	・リモデル効果により、前年割れは考えられないが、既存ブランドの低迷が若干目立ってきている。予算はクリアできると思うが、市場全体として、好調だとは考えにくい。
	スーパー（店長）	・行楽シーズンを迎え、各社とも特に週末の客の来店アップ目的の各種イベント強化等で客の奪い合いになり、客の買い回りによる客単価の低下は続く。
	スーパー（店長）	・食品については、単価ダウンが大きな要素となっている。客の目も厳しく、競争も激化しているため、単価が急に回復はしない。
	スーパー（総務担当）	・商品単価が下がったまま、また買い上げ点数も下がったままで、良くなる要素が見当たらない。
	スーパー（管理担当）	・近隣競合店の閉店の影響がある一部店舗はしばらく売上が良いと思うが、その他に購買が上がる要因が見つからない。
	スーパー（販売担当）	・今は農家からの購入もあるが、2～3か月先は、畑に野菜もできてくる。しかし今の傾向からみてあまり変わらない。
	コンビニ（エリア担当）	・既存店の売上は少しずつ回復傾向にあると思われるが、大手スーパーの閉店もあり、かなり影響を受けると思われる。この引継ぎ先が決まるまでは消費そのものが沈滞し、あまり良くない状況が続く。
	コンビニ（エリア担当）	・競合店の出店等、近隣の環境は変化していないのに、売上は引き続き減少している状態である。今後もこの状況が続く。
衣料品専門店（店長）	・テレビ・新聞ともに、景気回復と言われているが、実感はない。毎月の来客数・単価等に安定感がなく、先行きがみえない。	
衣料品専門店（地域ブロック長）	・消費意欲は高まっているが、まだまだ必要なものしか購入しないという慎重な客が多く見られる。	
衣料品専門店（販売促進担当）	・近隣に大型チェーン店がオープンし、土日の集客がファミリー層を含め、若干減少しているが、他にない商品を求める客もまだまだ多く、そういった点で伸びてきている。	
家電量販店（予算担当）	・当地では10月から、地上デジタル放送が開始され、本放送へ向けて消費者の興味はますます高まっていく。したがって年間需要のピークである12月へ向けて拡大は期待できるが、この1年の傾向からすると、月ごとの変動は間違いなくあり、今月の好調は来月以降、やや落ちつく。	

	乗用車販売店（営業担当）	・厳しい販売環境は、依然として続いているなかで、3月よりメーカー販売車種を全車種取扱うこととなり、かなりの期待を持ったが、現状上乘せ効果は現れておらず、この傾向は続く。
	乗用車販売店（サービス担当）	・来客数の減少の回復が見込めない。既納先からの代替需要も少ない。
	自動車備品販売店（経営者）	・この基調は変わらないと考えている。客の来店推移及び購買状況からみて、現状の若干上向き状態が続く。
	住関連専門店（広告企画担当）	・良い家具をきちんと買える層が、はっきり分かれてきている。当然、全体のパイは小さくなるので、トータルで、良いとは言えない。
	高級レストラン（スタッフ）	・婚礼については、4月は多少入っているが、その先は厳しい状況である。一般宴会についても、4月はまずまずであるが、それ以降は全く予測がつかない状況である。
	その他飲食 [ハンバーガー]（経営者）	・改装により大きく伸びている店舗もあり、緩やかな上昇傾向は変わらない。
	都市型ホテル（経営者）	・地元経済は依然厳しい状況は続くものの都市部からのビジネス客は回復傾向にあり、客室部門の予想は前年を上回っている。料理飲料部門においても宴会、レストランともに前年を上回る予約状況で推移している。
	都市型ホテル（従業員）	・都心あるいは大企業においては景気回復が言われているが、地方において、家計にホテルで外食するほどの余裕が生まれるのはまだまだの状況が続く。
	タクシー運転手	・先月の新聞記事を見ても、鳥取県は、残念ながら先行きが良いという判断材料がない状態で、乗客の言動からもこれは強く感じられる。
	タクシー運転手	・タクシー業界では、その日の売上は、長距離客に当たるか当たらないかで、ある程度決まる日々が続いており、また増車の影響でその割合はますます減少している。一日の乗車回数自体はあまり変わっていないが、このような状況が続く限り良くならない。
	通信会社（社員）	・年度末から年度初めにかけて売上量の増加がみられるが、その先が不透明である。
	通信会社（企画担当）	・「やや良い」という状態で、変わらない。単価的に更に下がる方向にはみえないのと、IT需要自体は変わらず高まってきている。
	通信会社（通信事業担当）	・引越シーズンに入り、例年より解約の件数が増えている。月が変わり4月に入ると転入があるが、どこまで回復できるかは予想が立たない。
	テーマパーク（財務担当）	・現在の状況を大きく変える要素が見当たらないので、しばらくは低調のまま推移する。
	テーマパーク（広報担当）	・昨年度より経費を大幅に落としている。減収はまぬがれないが、利益は是るかもしれない。
	設計事務所（経営者）	・我々中小企業の建築設計関係では、仕事量はやや増加傾向にあるものの、単価が非常に低い状況で、人件費増を伴う採算的に厳しい仕事の繰り返しである。今後も大きな仕事が出てくる気配もなく、先行き不安な状態が続く。
	住宅販売会社（従業員）	・来場客数、購買意欲ともに若干回復してきているが、受注までの反映にはまだまだの状況にある。
	住宅販売会社（経理担当）	・土地価格の下げ止まりや金利の先高感により、消費者の購入意欲の高まりが期待できる。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・商店街には、空き店舗が増えている。マイナスの相乗効果という点で、今後いよいよ厳しくなる。
	スーパー（店長）	・前年比客数減のうえ、先月当店から1キロくらいの所に競合店がオープンし、オーバーストア状態である。チラシの打ち合いを含め、今後も厳しい状況が続く。
	コンビニ（エリア担当）	・身の回りでは、景気が回復しそうな気配は全くない。客数も客単価も大幅にダウンしているため、売上でみれば、前年割れを起こしている。必要なもの、緊急性のあるもののみコンビニを利用し、その他は単価の安いスーパー・ドラッグストアに流れている。今後も使い分けが更に進んでいく。
	乗用車販売店（販売担当）	・4月以降、新型車の発売予定もなく、地域内の多くの業種で不況感が強く、今後一層買い控えが強まり、新車の販売台数がますます減少する。
	その他専門店 [時計]（経営者）	・金・プラチナの価格上昇で、品物の価格も上昇しており手が出しにくくなる。
	設計事務所（経営者）	・4月以降の受注見込みがたたない。
悪くなる		

企業 動向 関連	良くなる	輸送用機械器具製造業 (経理担当)	・当月は決算月ということもあり受注量そのものについては、ピークを迎えるが、今後2～3か月先についても新製品効果は持続する。
	やや良くなる	鉄鋼業(総務担当)	・中国鉄鋼メーカーなどの供給過剰により在庫調整が続いていた汎用品について、ユーザーの在庫調整が進展してきている傾向がでてきているため、引き合いは回復の兆しを見せ始めている。
		建設業(営業担当)	・各業種の担当者話に、設備投資の計画が実施に移る傾向がみられた。
		輸送業(統括)	・4月以降の新規業務の確定件数が徐々に増加してきている。
		通信業(社員)	・光電話が低価格になっていることと、提供エリアが拡大していることから、今後も需要の増加が期待できる。
		金融業(業界情報担当)	・米国経済の減速懸念は払しょくできないが、総じて世界経済は堅調に推移すると予想され、輸出の好調がけん引役となり、増収傾向が当面続くと期待される。
		金融業(営業担当)	・基本的には良くなっていると思われる。特に運送業においては荷動きに活発さがみられる。ただし、受注価格、ガソリン代等の高騰で収益は若干厳しい見通しである。
		会計事務所(職員)	・今年の確定申告では、ここ数年来低調だった不動産の譲渡所得の申告が増加していたため、これからも良くなる。
	変わらない	化学工業(総務担当)	・物流費や原燃料費高等の影響はあるものの当面現状を維持する。
		窯業・土石製品製造業 (総務経理担当)	・現在の大口案件は4月上旬で完了するが、引き続き次の大口案件の生産が控えており、今後2か月程度は現在の残業などを前提とした生産体制が続く見込みである。
非鉄金属製造業(経理担当)		・在庫調整局面がない限り、増産傾向が続く。	
金属製品製造業(総務担当)		・受注量は現状通り好調に推移していくと予想される。原油や非鉄相場の高止まりにより、化成品や銅等の値上げが予想される。輸送費も上昇懸念がぬぐえず、それらが収益を圧迫する要因になる可能性がある。	
一般機械器具製造業 (経営企画担当)		・伸び悩んでいた、海外向けの自社製品の売上が回復してきた。	
電気機械器具製造業 (広報担当)		・これからも受注が確保できる見込みにある。	
電気機械器具製造業 (総務担当)		・現在の好調推移は変わらない。自動車・鉄道とも国内・欧米受注高止まりを予想している。携帯関連は春モデルが一段落する予想も、エアコンの受注が始まってきており、全体的には好調のまま推移する。	
建設業(経営者)		・最近発表された公示価格ではこの地域も5～6%のダウンである。下落が止まらない限り、我々建設不動産関連は動きが少なく、公共工事も少なければ民間も悪いまま推移する。	
通信業(営業企画担当)		・情報通信業界ではここ最近新たな参入・買収などの大きな変化が起こっており、一時下げ止まり傾向にあったサービス単価も、再び値下げ競争による低下方向となることは避けられず、従来のような収益維持はますます望み難くなってきた。	
やや悪くなる		食料品製造業(総務担当)	・数量的には若干増加しているが、設備がオーバーフロー状態で、なかなか次の仕事を受け入れる態勢ができていないので、難しい状態が続く。
	食料品製造業(総務担当)	・先日、各スーパーの春先の陳列替えが終了したが、魚肉練り製品の売場は徐々に狭まってきている。同じ練り製品でも、冷凍食品はそこそこの売上を維持しているようだが、消費者が購入後、手を加えるような生食品の取扱は一段と厳しさを増してきている。	
	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・引き続き、受注量、生産高ともに、横ばいの状況が続いているが、原材料等の購入価格は高止まりのままであり、受注価格は流動的であることに加え、春の賃金改定を控え、先行きの不安要因が多く、厳しさを増大する可能性が大である。	
	広告代理店(営業担当)	・金融緩和が終わり、企業ではいずれは上昇するであろう金利に備え防衛の構えである。田舎は特にその傾向が強い。	
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	学校[大学](就職担当)	・各企業まんべんなく、とりわけ、製造業・銀行業等に採用意欲がある。若年層への採用が活発化することで、若年層を含めた個人消費も伸びるのではないかと推測され、それが景気回復にも寄与する。

やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・派遣社員から正社員へ切替えの動きがある一方、引き続き派遣社員を求める動きも強く、企業の人材採用意欲は高い。
	人材派遣会社（担当者）	・求人数の伸びが著しい。求職者数は職種にもよるが、かなり減少している。
	求人情報誌製作会社（支社長）	・求人数の動きからみると、やや良くなる。
	求人情報誌製作会社（担当者）	・企業の採用に対する意欲が依然として高い。
	民間職業紹介機関（職員）	・本格的な金利上昇前の設備投資 人材採用増大 ますますの人手不足、という循環が現れる。
	民間職業紹介機関（職員）	・地場大手IT企業からの求人数を今までの倍に変更する旨の求人依頼があった。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・地域周辺企業の中には、すでに次年度の採用活動を始めた事業所も多くあり、特に製造業を中心に求人の需要が高まっている。こうした職種の求人に関しては、新年度早々から求人依頼がある。
変わらない	職業安定所（職員）	・年度末を控えて、事業縮小による大量解雇が数件発生するなど、大半を中小企業で占める管内の状況は厳しいままである。
	職業安定所（職員）	・新規求人数は増加傾向にあるが、新規求職者も増加すると見込まれ、上昇していた求人倍率も低下する。
	職業安定所（職員）	・求人数は落ちついた状況であり、今後、極端な増減はない。
	職業安定所（雇用開発担当）	・新規求人数は増加しているものの、今後しばらくは大口求人が派遣・パート中心で、求人数そのものが大きく変動する要因が見当たらない。また、減少し続けてきた有効求職者数が3年6か月ぶりに増加するなど懸念材料もある。
やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・中堅どころはかなり良くなっているようだが、地場中小企業の厳しさに変化はないか、やや悪くなる可能性もある。
悪くなる	-	-